

母の徳は海より深し

「母の日」は、敵味方問わず負傷兵の衛生状態を改善する「母の仕事の日」に感銘を受けたアメリカの女性参政権運動家ジュリア・ウォード・ハウが、夫や子どもを戦場に送るのを拒否しようと「母の日宣言」を発したのが発端です。東洋では「父は天、母は地」と父を先にします。江戸時代の寺子屋でも、教科書の『童子教』で「父の恩は山より高く、母の徳は海より深し」と教えていました。母親の包容力は大海にたとえられます。母と海の間を、三好達治は『観測船』所収の散文詩で「海よ、僕らの使う文字では、お前の中に母がいる。そして母よ、フランス人の言葉ではあなたの中に海がある。」と歌っています。漢字では「海」の中に「母」、フランス語では mere(母)の中に mer(海)があります。これも東洋と西洋が逆になります。

金商図書館もみなさんの知識の母となるよう良書を用意して待っています。

図書委員がすすめる

読んで得するテッパン本

『少女』 湊かなえ 著

二人の少女が抱えていた互いの思いが伝わった瞬間が一番印象的だった。少女の年齢も自分たちと近く、親しみが持てたし、文章も独特でとても読みやすかった。
(31H)

『冷たい校舎の時は止まる』辻村深月 著

ある雪の日、男女8人の高校生が学校に閉じこめられた。そのうち、8人は2ヵ月前のある事件を思い出す…。でもその顔と名前がわからない。ここから抜け出そうと頑張るところが面白い。
(31H)

『永遠の0』 百田尚樹 著

映画化されるほど、とても感動する本。自分の先祖の事や昔のことが気になってきます。戦争中でも家族のため死にたくないという気持ちを持ち続けて懸命に戦い生きます。そんな兵士の話で、ほんとーにオススメ！
(32H)

旧図書館の中庭に、地球上最古の花木といわれている木蓮の木がありました。歴史ある金商高校に学ぶみなさんが、心も知識も大きく美しく成長することを願って、図書館だより「木蓮(もくれん)」をお届けします。

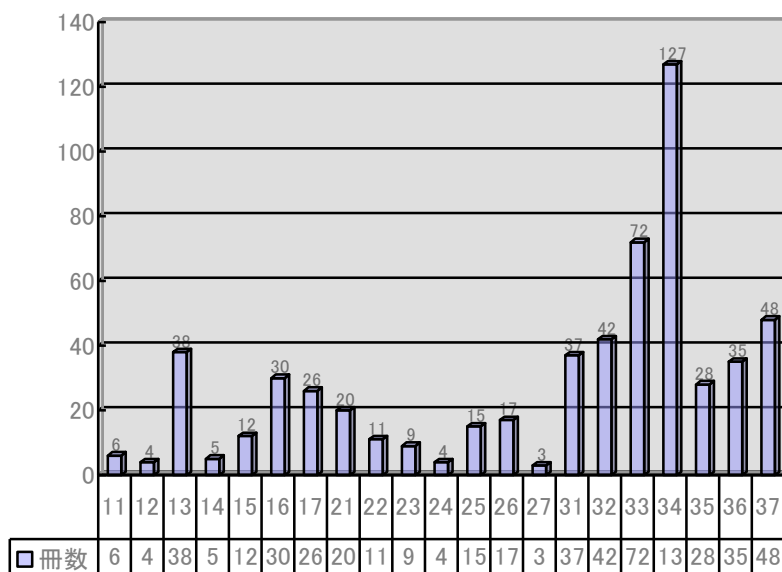
新着雑誌

『News がわかる』



●1カ月のニュースをまとめて解説する情報誌。難しいニュースをやさしく解説。

図書館利用統計【4月8日~4月30日】



今回の図書貸し出し総数は634冊でした。開館日数は18日で、1日平均にすると約35冊の貸し出しです。学年別では3年生が389冊、2年生が79冊で、1年生121冊でした。入館者の総数は2,071人で、1日平均約115人の利用でした。図書館での授業は14時間ありました。貸し出し0のクラスがなく、昨年の4月と比較すると、入館者数は倍増、貸し出し数は2.5倍になりました！今後も是非図書館へ足を運んで下さい！

ありがとう



図書の寄贈がありました！
*株河村様より 『北国新聞縮刷版1月号』

社長の河村様をはじめ社員の皆様の約半数が金商の卒業生という会社からの寄贈です。感謝して利用させていただきます。

